

2013年（行ウ）第13号

2012年度固定資産税賦課処分及び減免不承認処分取消請求事件

原告 紀州鉦山の真実を明らかにする会 金静美（キム チョンミ）

同

竹本昇

同

同

同

被告 熊野市

同代表者兼処分行政庁 熊野市長 河上敢二

証 拠 申 立 書

2014年2月18日

津地方裁判所民事部 御中

原告 紀州鉦山の真実を明らかにする会 金静美（キム チョンミ）

同

竹本昇

同

同

同

第1 証人尋問の申出

1 証人の表示

- 1) 紀州鉦山で亡くなった李白洛（イ ペンナク）さんの遺児

住所

李炳植（イ ビョンシク）

主尋問 100分（通訳時間を含む）

- 2) 紀州鉦山で亡くなった千炳台（チョン ビョンテ）さんの遺児

住所

千鳳基（チョン ポンギ）

主尋問 100分（通訳時間を含む）

2 立証の趣旨

1) 李炳植 (イ ビョンシク)

- (1) 父の李白洛さんが、大韓民国慶尚北道軍威郡から日本に強制的に連行された事実。
- (2) 父の李白洛さんが、日本に強制的に連行され、紀州鉾山で働かされたことを知ったことにかんする事実。
- (3) 父の李白洛さんが、紀州鉾山で亡くなったことを知ったことにかんする事実。
- (4) 石原産業が 1946 年に三重県内務部長に提出した報告書に、父の李白洛さんが、紀州鉾山から「慰労金」、「退職手当」、「帰国旅費」を受けとって 1945 年 12 月に帰国したという偽りが書かれていることにかんする事実。
- (5) 熊野市紀和町小栗須の慈雲寺の本堂に置かれている『紀州鉾業所物故者霊名』に、父の李白洛さんの名が記されていることにかんする事実。
- (6) 慶尚北道から紀州鉾山に強制連行され、紀州鉾山で亡くなった同胞のうち、名前が明らかになっているのは、千炳台さんと李白洛さんのお二人だけであるということにかんする事実。
- (7) 紀州鉾山があった日本熊野市が、熊野市紀和町の紀州鉾山で亡くなった朝鮮人を追悼する碑の敷地に課税したことを知ったことにかんする事実。

2) 千鳳基 (チョン ポンギ)

- (1) 父の千炳台さんが、大韓民国慶尚北道安東郡から日本に強制的に連行された事実。
- (2) 父の千炳台さんが、日本に強制的に連行され、紀州鉾山で働かされたことを知ったことにかんする事実。
- (3) 父の千炳台さんが、紀州鉾山で亡くなったことを知ったことにかんする事実。
- (4) 石原産業が 1946 年に三重県内務部長に提出した報告書に、父の千炳台さんが、紀州鉾山で死亡したのではなく、紀州鉾山から「逃亡」と記載されていることを知ったことにかんする事実。
- (5) 熊野市紀和町小栗須の慈雲寺の本堂に置かれている『紀州鉾業所物故者霊名』に、父の千炳台さんの名が記されていることにかんする事実。
- (6) 石原産業が 1955 年につくった『従業物故者 忌辰録』(1955 年 10 月 10 日現在調)という「会社創業以来の物故者」の名簿に、父の千炳台さんの名が記されていることを知ったことにかんする事実。
- (7) 慶尚北道から紀州鉾山に強制連行され、紀州鉾山で亡くなった同胞のうち、名前が明らかになっているのは、千炳台さんと李白洛さんのお二人だけであるということにかんする事実。
- (8) 紀州鉾山があった日本熊野市が、熊野市紀和町の紀州鉾山で亡くなった朝鮮人を追悼する碑の敷地に課税したことを知ったことにかんする事実。

3 尋問事項

別紙 1、別紙 2 の尋問事項記載のとおり。

別紙1

尋問事項

証人 李炳植 (イ ビョンシク)

- (1) 父の李白洛さんが、大韓民国慶尚北道軍威郡から日本に連行されたのは、いつか。そのとき、どのように誰によって連行されたか。
- (2) その後、父の李白洛さんが、紀州鉾山で働かされていたことを知ったのは、いつか。
- (3) 父の李白洛さんが、紀州鉾山で亡くなったことを、いつ、どのように知ったか。
- (4) 父の李白洛さんが実際に亡くなったのは、いつか。その日は、韓国の戸籍簿（あるいは除籍簿）に記載されているか。
- (5) 紀州鉾山を経営していた石原産業が 1946 年に三重県内務部長に提出した報告書に、父の李白洛さんは、紀州鉾山から「慰労金」、「退職手当」、「帰国旅費」を受けとって、1945 年 12 月 24 日に「終戦に依り帰国」したという虚偽が書かれているが、このことを知ったのはいつか。どのようにしてそのことを知ったか。そのときどのように思ったか。
- (6) 熊野市紀和町小栗須の慈雲寺の本堂に置かれている『紀州鉾業所物故者霊名』には、父の李白洛さんの名が記されているが、このことを、いつ、どのように知ったか。
- (7) 軍威郡の故郷から、何人の人が日本に強制連行されたか。そのうち紀州鉾山に連行され、故郷に戻った人は何人であったか。
- (8) 父の李白洛さんが、日本に強制連行され、紀州鉾山で亡くなって、遺族はどのように生活したか。
- (9) 紀州鉾山があった日本熊野市が、熊野市紀和町の紀州鉾山で亡くなった朝鮮人を追悼する碑の敷地に課税したことをどのように考えているか。

以上

別紙2

尋問事項

証人 千鳳基 (チョン ポンギ)

- (1) 父の千炳台さんが、大韓民国慶尚北道安東郡から日本に連行されたのは、いつか。そのときのどのように誰によって連行されたか。
- (2) その後、父の千炳台さんが、紀州鉾山で働かされていたことを知ったのは、いつか。
- (3) 父の千炳台さんが、紀州鉾山で亡くなったことを、いつ、どのように知ったか。
- (4) 父の千炳台さんが実際に亡くなったのは、いつか。その日は、韓国の戸籍簿（あるいは除籍簿）に記載されているか。
- (5) 紀州鉾山を経営していた石原産業が1946年に三重県内務部長に提出した報告書に、父の千炳台さんが、1944年8月2日に、紀州鉾山から「逃亡」したと記載されているが、このことを知ったのはいつか。どのようにしてそのことを知ったか。そのときどのように思ったか。
- (6) 熊野市紀和町小栗須の慈雲寺の本堂に置かれている『紀州鉾業所物故者霊名』には、父の千炳台さんの名が記されているが、このことを、いつ、どのように知ったか。
- (7) 石原産業が1955年につくった『従業物故者 忌辰録』（1955年10月10日現在調）という「会社創業以来の物故者」の名簿に、父の千炳台さんの名が記されているが、このことを、いつ、どのように知ったか。
- (8) 安東郡の故郷から、何人の人が日本に強制連行されたか。そのうち紀州鉾山に連行され、故郷に戻った人は何人であったか。
- (9) 父の千炳台さんが、日本に強制連行され、紀州鉾山で亡くなって、遺族はどのように生活したか。
- (10) 紀州鉾山があった日本熊野市が、熊野市紀和町の紀州鉾山で亡くなった朝鮮人を追悼する碑の敷地に課税したことをどのように考えているか。

以上